

## NPO 法人小網代野外活動調整会議は こんな活動をしています。

### 【保全推進事業】

- ・作業ルートの整備
- ・湿原回復作業
- ・有害外来種除去を含む生物多様性回復作業
- ・アカテガニ・ピオトープの整備
- ・小網代湾岸海浜植生の回復・維持

### 【学習・ボランティア活動への支援事業】

### 【トラスト緑地保全支援事業】

- ・干潟を含む生物調査・流路整備等

## NPO 法人小網代野外活動調整会議に 資金協力したい方は

- ・当法人への直接のご寄付  
郵便振替口座番号：00240-1-95307
- ・かながわトラストの  
「トラスト緑地保全支援会員」へのご登録  
(問合せ先：045-412-2525 小網代支援とご明示ください)

## 小網代の森の訪問を希望される方は

- ・<小網代の森利用連絡・調整票>の提出  
にご協力をお願いします。
- ・学習・ボランティア活動でのご訪問につき  
まはしては、スタッフによる森のご案内も可  
能です。(但し寄付またはスタッフ派遣費のご  
負担をお願いします。)
- ・くわしくは Web サイトをご参照ください。

## 小網代の森の整備にご協力ください

2011 年 1 月版



## お問合せは

NPO 法人 小網代野外活動調整会議  
〒223-0053  
横浜市港北区綱島西 2-5-10 コーリン綱島 4F  
TEL045-540-8320 FAX045-546-4344

URL=<http://www.koajiro.org/>

小網代の森を環境学習・ボランティア貢献の  
場として利用される皆様は、ご連絡・ご相談  
くださいますよう、お願いいたします。

## 保全確定・整備期間は通行自粛を

小網代の森は、神奈川県三浦市にある、約  
70 ヘクタールの自然集水域(全域が首都圏近  
郊緑地保全区域)です。2010 年 2 月、保全に  
必要な全ての土地を神奈川県が確保し、今後  
しばらくは、湿地の再生などの整備作業が進  
みます。その間は、通路安全の確保もむずか  
しく、マムシ、スズメバチ等の出現もありま  
すので、神奈川県から、一般の通行は自粛を  
要請されています。

## 整備期間中における谷の通行

整備期間中でも、学校等による学習訪問に  
ついては、NPO 調整会議がご案内する、簡単  
なボランティア作業を伴う方式で、谷の訪問  
が可能です。ご相談ください。

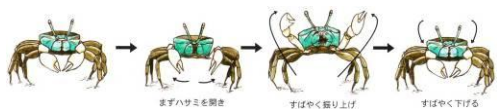
整備期間中、市民団体あるいは個人で谷の  
訪問をご希望の場合は、7・8・9 月を除く毎  
月第 3 日曜日、午前 9:30 三崎口駅前集合で、  
NPO 調整会議が主催する<学習・ボランティ  
アウォーク>にご参加いただくことができ  
ます。12:00 に現地解散、雨天中止です。

谷の通行にあたっては、湿原保護のため、  
ぬかるみは長靴を履き、川沿いのトレイルに  
沿って歩いていただきます。

7・8・9 月の 3 ヶ月は、マムシ、スズメバ  
チなどの危険も高いので、通路の安全整備を  
いたしません。森の通行は自粛していただき  
ますようお願いいたします。

## 干潟で観察する

河口にはアシ原に囲まれた干潟がひろがっています。  
この干潟はカニたちの楽園。たくさんの種類のカニがすみ分けをしています。



チゴガニのダンス

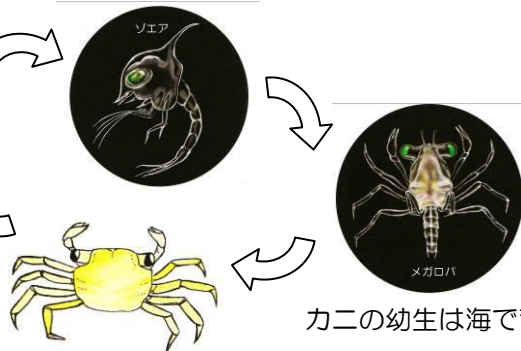
引き潮の時間を確認してから出かけましょう。  
アシ原には入らないでください。  
干潟を移動するときは濡スジを歩きましょう。  
裸足で歩くと危険です。

参考：「小網代の谷のカニ図鑑」  
NPO 法人流域自然研究会発行

## アカテガニ

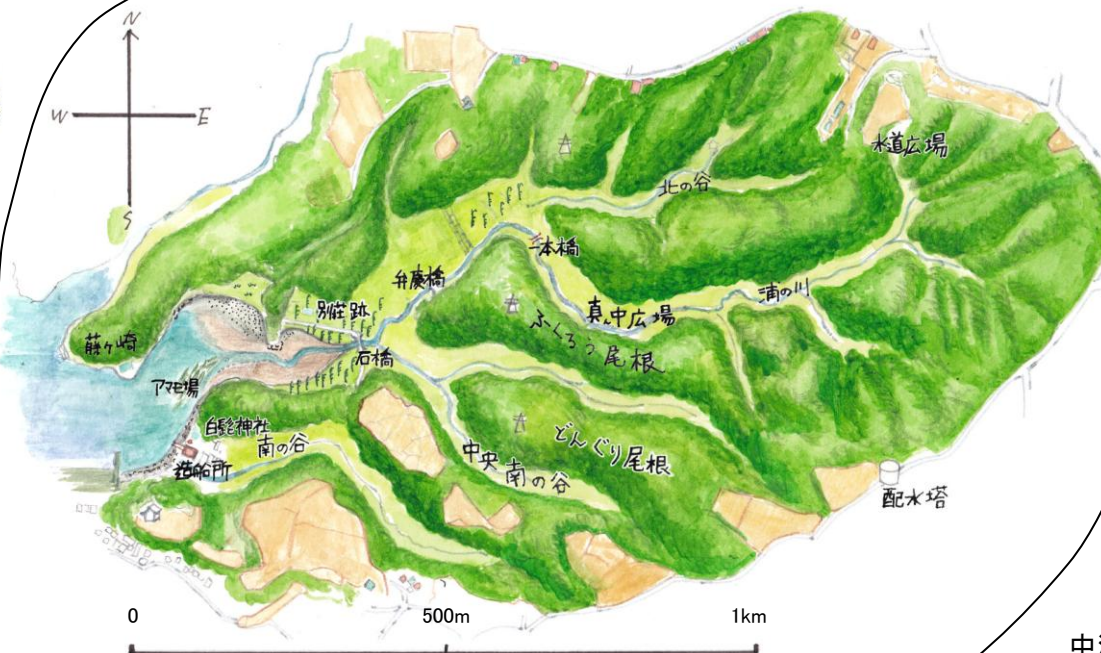


森全体に暮らす、小網代の自然の象徴です。

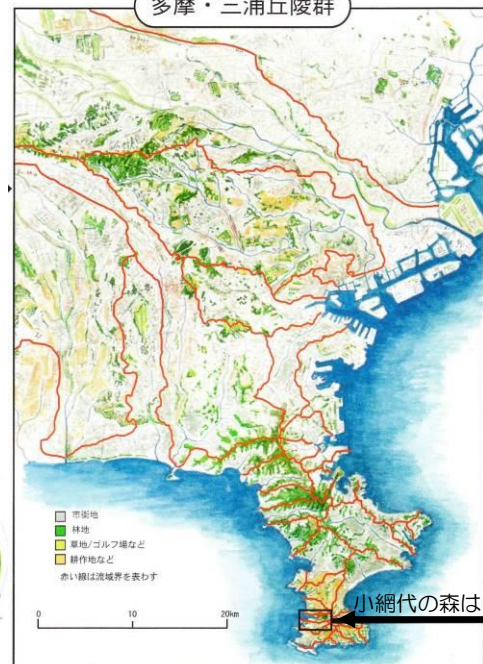


カニの幼生は海で育ちます。

小網代の森は一番高い尾根でも標高およそ80m、中央の谷を流れる浦の川は約1.2km。森に降った雨は谷に集まり、川となり、河口から海へと注ぎます。人工物で分断されることのない〈完結した自然の流域です〉。



多摩・三浦丘陵群



小網代の森はココ

## 中央の谷を歩く



源流から河口まで季節ごとに違った楽しみが発見できます。  
トレイルを広げないように、ぬかるみも長靴を履いて、楽しみましょう。  
初夏から秋季はスズメバチやマムシが出現し、藪が深く、危険なため、通行をお控えください。